

# 福島県海域におけるババガレイの食性

福島県水産試験場 水産資源部

## 1 部門名

水産業—資源管理—ババガレイ

## 2 担当者

五十嵐敏・早乙女忠弘

## 3 要旨

ババガレイ(ナメタガレイ)は、平成22年の県内の水揚げが179トン、114百万円であり、福島県においては底びき網の重要な漁獲対象種であるが、資源管理に必要な生態的知見は少ない。特に食性についてはほとんど無いため、これを明らかにすることを目的とした。

- (1) 2000年9月～2001年1月と2011年3月～2012年8月の2期間において、底びき網漁船、さし網漁船および県調査船により福島県沿岸海域で採捕されたババガレイの胃内容物を調査した。
- (2) ババガレイの主要な餌料は、季節にかかわらず、どの海域においても多毛類、イソギンチャク類、甲殻類等であった。小型個体では比較的小型の餌生物を、大型個体では比較的大型の餌生物を主餌料としていた。
- (3) ババガレイは摂餌する種の選択性は低く、多毛類、イソギンチャク類、甲殻類等の動物群の中で、その場で摂餌できるものを食べているように思われた。
- (4) 福島県海域におけるババガレイの食性は、イソギンチャク類を主餌料の1つとしている点で、過去の他海域の調査結果と異なっていた。

表1 採集時期別の胃内容物重量組成

調査年月	多毛類	イソギンチャク類	甲殻類	後鰓類	カモシデ類	その他	消化 %
2000.9	36.9	19.5	8.0	-	0.5	0.5	34.6
10	31.2	0.0	8.2	-	2.7	1.1	56.8
11	51.1	1.1	8.0	-	2.9	5.9	31.0
12	32.9	27.1	12.9	-	2.0	2.5	22.6
2001.1	13.1	29.5	8.0	-	0.6	5.3	43.5
2011.3～5	52.5	26.3	10.7	0.5	0.1	0.0	9.9
6～8	49.6	16.0	24.4	0.3	0.8	1.1	7.8
9～11	58.8	10.6	12.0	2.6	1.1	0.9	14.0
12～2012.2	55.0	17.3	4.1	3.0	1.4	5.2	13.9
2012.3～5	46.0	24.3	5.1	9.4	1.3	3.3	10.6
6～8	48.6	14.6	7.7	4.2	0.2	12.0	12.7

表中「-」は「その他」に含む

表2 全長別の胃内容物重量組成

全長(mm)	多毛類	イソギンチャク類	甲殻類	後鰓類	カモシデ類	その他	消化 %
151～200	51.8	2.8	32.1	1.5	0.3	0.0	11.6
201～250	61.3	6.7	12.7	1.6	0.7	0.8	16.1
251～300	60.8	8.1	7.9	2.9	0.2	4.8	15.3
301～350	55.1	22.8	4.2	2.4	1.9	4.5	9.2
351～400	37.9	31.6	5.1	6.3	0.5	6.4	12.0
401～450	53.8	13.9	10.6	2.8	2.1	7.4	9.3
451～500	15.4	15.0	13.6	45.7	0.0	1.9	8.3

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～27年度
- (2) 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明
- (3) 参考となる成果の区分 発展見込

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 三河正男: 東北海区に於ける底魚類の消化系と食性に就いて(第2報)サメガレイ・ババガレイ、東北水研研報、2、26-36(1953).
- (2) Hatanaka M., Kosaka M., Sato Y., Yamaki K. and Fukui K.: Inter-specific relations concerning the predacious habits among the benthic fish, Tohoku Jou. Agri. Res., 5(3), 177-189(1954).